

令和2年12月

志登茂

(野村元三重大学長筆)

第55号



創立当時の三重高等農林学校全景(大正11年)

志登茂会発行

==== 目 次 =====

特別寄稿 三重大学の変容 (With コロナ)	
(三重大学学務部長 草川 弥生)	1 ~ 3 頁
志登茂会会長の6年目 (志登茂会会長 寺西 清)	4 ~ 5 頁
近況報告と志登茂会に入会して (稲垣義一)	6 頁
近況報告 (下 初)	7 頁
近況報告 (高田繁則)	8 頁
近況報告 (山田浩之)	9 頁
志登茂会の皆様へ (前川豊孝)	10 頁
定年からの学び — 公開講座や市民開放授業など — (伊藤文雄)	11 ~ 12 頁
志登茂会会員からの近況報告等	13 ~ 20 頁
事務連絡・編集後記	21 頁



三重大学の変容（with コロナ）

三重大学学務部長

草川 弥生

コロナ禍で生活変容が求められる中、皆様、如何お過ごしでしょうか？

前号までの会報を拝見し、古き良き国立大学時代のことが思い出され、懐かしさで胸がいっぱいになりました。今年（令和2年）の4月に学務部長を拝命し、自分なりに頑張ろうと張り切ってはいたのですが、まさかのコロナ禍で現状は厳しく、なかなか役目が果たせず、日々奮闘しているところです。ここにきてやっと諸先輩方のご尽力やご苦勞が分かったような気も致します。寺西会長に機会をいただきましたので、コロナ禍における三重大学の現状についてお知らせしたいと思います。

さて、新型コロナウイルスの出現ですが、2019年12月以降、中国内陸部の湖北省武漢で原因不明の肺炎の患者が確認され、7人が重症となったことに端を発し、厚生労働省が注意喚起を行ったのが2020年1月6日。これより新型コロナウイルスが猛威を振るい、あっという間に感染が拡大し、コロナ禍を被ることになったのは皆さんの記憶に新しいと思います。

三重大学は、2019年2月26日に「新型コロナウイルス緊急対策本部」を立ち上げ、行動指針や授業の基本方針を策定し、2019年度学位記授与式・2020年度入学式の中止、3月末よりのクラブ・サークル活動の休止、前期授業のオンラインでの実施を早々に決断し、感染者を出すことなく、何とか1週間遅れで授業を開始しました。本学にはオンラインでの授業実績はなく、決断はしたものの教員の方々の授業へのご尽力は相当なものでした。主に「Zoom」というツールを使っておられました。世界中が一斉に利用し始めたためにアカウントの取得も早い者勝ちといった競争で、入手もままならない状況が続きましたし、入手後も学内で研修に研修を重ね、Zoomを修得した上で新しい授業スタイルを構築し、実際に授業をやりながら工夫していくといったPDCAを回しながら、取り組んでおられました。これに伴い学内の会議スタイルも変容し、Zoomが取り入れられ、すべてオンライン会議となりました。これらは現在も継続されており、学生及び教職員の命を守ることを最優先としておこなってきた本学の対策なのです。

4月に出された緊急事態宣言が5月に解除され、6月には自粛要請も緩和されたため、本学は行動指針のレベルを下げ、クラブ・サークル活動を再開、授業も実験・実習を順次対面方式に切り替えはじめました。この頃には、新型コロナウイルス感染症における大学の方針や対策、意思決定の手順も確立し、学内的には少し落ち着きを取り戻し、いろいろなことを想定しながら対策できるようになっていました。しかし、新型コロナウイルスは更に猛威を増し、残念なことに8月5日、三重大学の学生が新型コロナウイルスに感染

し、あっという間にクラスター拡大となり、再度、クラブ・サークル活動は休止、授業についても対面方式が一部取り止められ、原則的にオンライン方式を継続することに逆戻りしてしまいました。いつ誰が感染してもおかしくない状況でありましたが、いざクラスター拡大となりますと大変なものでした。三重県は比較的感染者が少ない方だと思っておりましたが、新型コロナウイルスの感染力は本当に脅威です。クラスター拡大となったことで、保健所や県、国のクラスター対策班とともに調査を行い、感染拡大を阻止するべく、教職員が一丸となって対応にあたりました。

また、新型コロナウイルス感染の状況が長引いたことにより、学生の修学面、生活面、心理面などに影響が出ており、三重大学学生総合支援センター「学生なんでも相談室」の鈴木英一郎先生のアンケート調査（5月・9月実施）によると、いずれの調査においても「学業や研究について」不安を感じていると回答した学生の割合が最も多く、「精神面」「進路・就職」にも不安を感じている。不安・ストレスに対する「コロナ」の影響についての問いには、7割以上の学生が「コロナ」の影響で不安・ストレスを感じており、9月の調査ではその割合がかなり増えている。ストレスへの対処の方法としては、他者等への相談ではなく、それぞれ自身の趣味や運動などで、個人で不安やストレスをやり過ごしている学生が大勢いることがうかがえ、オンライン授業に関しては「他の受講生（友だち）と会えないこと」についての不安を感じていると回答した学生の割合が圧倒的に高く、「自身のモチベーションの維持」「身体的な不調（目が疲れる、肩が凝るなど）」「課題への取り組み（課題の量、資料の入手が困難など）」に対する不安も比較的高くみられる。一方、「自身のインターネット環境」や「授業の受講について（Moodle やビデオ会議ツールの利用など）」という項目については、不安を感じている割合はあまり高くなく、対面、オンラインという授業形式に関しては、それぞれにメリット・デメリットを感じており、学生の中でも意見が割れている。どちらかと言えば「対面授業」の再開を望む群の割合の方が若干高いが、授業内容によっては「オンライン形式」の良さもあると感じており、もし同じ授業が両方の形式で開講されたら「対面」と「オンライン」のどちらを選ぶか？の問いには「授業内容によって判断したい」が最も高い割合を示している。との結果でありました。オンライン環境の設定、PCの扱い方、Moodle や zoom の使い方など、特に1年生についてはいろいろと心配もしておりましたが、大学院生によるサポートデスクが設置されたこともあり、思ったほどでもなく、学生の順応の早さ、冷静さには本当に驚かされました。

更に影響が出たのは職員についてです。事務所の分割、在宅勤務・フレックス出勤の措置をとり、会議はオンラインで行い、学生対応は郵便・電話・zoom を使い、三密を避けました。コロナ対策ということで、ここまでは良かったのですが、実際、職員間のコミュニケーションが非常にとりづらく、昼食もお弁当を席で静かに食べ、目の前には透明ビニールシートといった状況が当たり前になってしまい、ふと気づくと「いかに人と関わることなく仕事を遂行するか？（職場にいる時間を過ごすか）」を皆が求めるという状況になっていました。これは危機的な職場環境です。これに気づかせてくれたのは人事異動で、異動してきた職員が組織になじむのに、いつもより時間がかかっていたのです。異動の時期をコロナ対策で7月から10月に延ばしたこともあり、結果的に、いろいろなことが軌道に乗り始めた頃にコミュニケーションの薄い環境に身を置くことになってしまったよう

です。学務部内の打ち合わせで、課長方から「対面での打合せ会」「若手職員の合同研修会」「ランチ部内ミーティング」の声が上がり、少人数・ソーシャルディスタンスで実行してみました。自身も含め気持ちが大変穏やかになり、忘れていた活力が戻ったような気がいたしました。

with コロナで8か月が過ぎようとしていますが、10月現在、クラブ・サークル活動を再開、授業についても、実験・実習及びこれ以外の対面授業を始めるに至っております。今後は入試も控えておりますが、対面授業や活動を徐々に増やし、新入生にも別途対応していく予定です。学務関係の業務に携わって5年目になりますが、ここにきてインフラ整備のようなことが必要になるとは思ってもみませんでした。しかし、これは変革のチャンスでもあります。三重大学の新しい授業方法を確立し、AIの時代に対応できる人材育成ができればと思っております。今後の三重大学に、事務職員に、乞うご期待ください。自身も女性幹部職員のロールモデルとなるよう精進いたします。そして、お見守りいただくとともに「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学生支援事業」（振興基金）にもご支援いただけますと幸甚です。

末筆ながら、皆様には新型コロナウイルス感染にくれぐれもご留意いただき、ご自愛くださいませ。



志登茂会会長の6年目

志登茂会 会長
寺西 清

齢の所為か今年の夏も猛暑日が続いたナーと感じましたが、皆さんは如何でしたか？今年もいろいろありましたが、何ととっても第一に「新型コロナウイルス感染」ですネ！・・・これに起因し、国民生活、行政、経済等多面において多大な影響を受け、『全国一斉臨時休校、三密、外出自粛、緊急事態宣言、アベノマスク、特別定額給付金、クラスター、GoToトラベル、コロナ禍 etc』様々な斬新な言葉を耳にしました。

また、国民の多くが待望していた7月開催予定の東京オリンピックも新型コロナウイルスの世界的大流行への配慮から1年延期される等広範囲において日本のみならず世界中が新型コロナウイルスに翻弄され、その感染阻止は未だに完結されていない現状です。

我が三重大学においてもいろいろとその影響を受け、例年関係学生を一堂に会し実施されていた大学の基幹行事である卒業式（学位記授与式）・入学式が出来なかったこと、授業も学内で開講されることなくオンライン授業となったこと、その他教育・研究・大学の管理運営等において多岐に亘り今まで実施したことの無いような対応が強いられ学生は勿論教職員も戸惑いつつ多面において種々ご苦勞されているとのこと。

私も5月初旬に所用があり、三重大学へ足を運びましたが、例年この時期は新入学生を迎え、最高に活気付く時なのに、キャンパス内での学生の姿は極めて疎らで閑散としており「これが新入生を迎えた新学期の大学なのか！！」と驚愕した思いもありました。

加えて私は、今年で会長6年目を迎え加齢による心身の衰えをも実感し、会長交代の時期との考えもあり、皆様の心に残るような催し物を！と内心目論んでいましたが、残念ながら志登茂会もこの新型コロナウイルスにより想定外の多大な影響を受けました。

「春の総会」はコロナ感染を避けるため開催せず、総会の審議は、会員の皆さまに関係資料を送付し書面にて確認をお願いいたしました。そして恒例となっていた総会後の「懇親会」も止む無く中止とさせて頂きました。その後も新型コロナウイルスの感染は衰えず、7・8月には国内・県内の感染者数も再増加の傾向にあり、感染拡大阻止に配慮しなければならない状況が継続しており、本学の授業も前期のみならず後期もオンライン授業にするなどコロナ感染防止対応が徹底されました。これらの状況等を勘案し、志登茂会も8月の役員会において今後の活動方針を話し合い、その結果、当該ウイルス感染を危惧し、不本意ながら皆さんが楽しみにされていた『秋の親睦行事』を中止することを勇断し、その旨を皆さんに連絡させて頂きました。

このように志登茂会の全ての行事を中止したことは、志登茂会創設以来、皆無のことで「今年の志登茂会（会長）は何もしないのか！」と叱咤されるのではないかと戦きながら

会員の皆さまに「申し訳ありません！」と平身低頭深謝しているところです。

この様なことは、極稀なことだと思っておりますが、この起因の「コロナ感染」は、人間の身勝手な行動に対する天からの戒めではなかろうかと自分なりに解釈しています。

しかし、来年度までにはコロナ感染も終局を迎え、志登茂会の行事も順調に推進され活気ある爽やかな大輪の花が咲くだろうと心中より期待しています。



近況報告と志登茂会に入会して

新入会員

稲垣 義一

本年3月に定年退職し、この度志登茂会に入会させていただきました。
どうぞよろしくお願いいたします。

私は、昭和57年5月に医学部附属病院医事課にお世話になってから、人文学部・教育学部、生物資源学部、医学部の学務担当係、学務部入学試験課、学務部共通教育事務室、学術情報部社会連携チーム、そして最後は、学務部入試課にて副課長職と課長職を務め、主に学務関係特に入試関係の業務に長く携わって、何とか無事に退職を迎えることができました。

退職の年を迎えた時点で、再雇用の制度を利用して働くか、新しい職に就いて津市久居一色町の田舎で第2の人生を過ごすか迷いましたが、結局、引き続いて大学にお世話になることを選択して、令和2年4月からは特任一般職員として教育学部チーム附属学校事務室に勤務しております。着任早々には、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休校に係る学校園内での調整等に追われ、大学学部とは異なる環境で戸惑うばかりの毎日でした。再雇用として勤めた4月からは生活に少し余裕ができるかなと思っていましたが、そうとはいかない状態が今なお継続しています。新型コロナウイルス感染症は収束が見えない状況で、附属学校園では、動画授業の配信、臨時休校に伴う夏休みの短縮、教育実習の代替措置、学校行事の中止や実施内容の見直しなどがあり、先生方が、児童生徒の机・椅子をはじめ共用場所の消毒を日々行うなどの感染予防対策を講じての学校現場となっております。

プライベートでは、例え仕事が多忙であっても日頃の運動だけは欠かさないことをモットーに、バレーボールやテニポン（北海道生まれの室内テニス）を、若い者にはまだまだ負けまいという気持ちを持ってケガには注意しながら楽しんでおります。特にテニポンには、コロナ禍が解消され時間的な余裕が生じたら、津市（旧久居市）内での普及も考えております。

志登茂会に入会させていただき、総会や行事を通して退職された諸先輩の方々と交流を持つことが少しでも自分の生活にプラスになればと思っておりますので、今後とも、よろしくお願いいたします。



近況報告

新入会員
下 初

本年3月末に定年退職し、諸先輩方が交流を続けておられる志登茂会への入会の機会をいただきました。

私は、紀州熊野の地に生まれ、高校卒業までを気ままに過ごし、近畿地方にある滋賀医科大学に奉職することになりましたが、縁があって、25歳の秋に三重大学に転任させていただくことができました。

その後、昭和、平成、令和と3つの時代を経て、国立大学法人化などの変化が続いていくなか、大学職員として、病院事務、会計事務、学部事務、企画総務事務、研究支援事務、労務関係事務など、初任地の単科大学では経験できなかったと思える様々な業務を経験させていただきました。

また、附属学校や鈴鹿高専など、上浜キャンパス以外での勤務でも良い経験をさせていただくことができました。

退職が近づいた本年2月までは、諸先輩方と同様に例年通りの定年退職を迎えられるものと思い、楽しみに過ごしてきましたが、今時、世界的な流行を続ける新型コロナウイルスによる感染症が拡大するなか、例年とは異なった退職を迎え戸惑いもありましたが、退職後はこれまでに勤務経験のあった社会連携チームで再雇用職員としてもうしばらく勤めさせていただくことになりました。

私は、法人化後の40歳半ばから健康を意識するようになり、インターネットを通じて知り合った仲間との「奈良散策の会」に参加して15年余り、いまでは気の合う仲間と、奈良・大阪など関西地区でのウォーキングを続けておりますが、4月以降は、コロナ禍の影響でオフ会が開催できず、足腰が衰えないようにスポーツジムでの適度なトレーニングや自転車での近場の散策など自主トレを継続して、ストレス解消と健康維持を図っています。

新型コロナウイルスによる感染症対策では、新しい生活様式が求められ、手指の消毒やマスク着用、ソーシャル・ディスタンスの確保など、これまで通りの形での交流は難しくなっていますが、志登茂会の諸先輩方とも、いろいろな楽しみ方で過ごさせていただける日が来ることを願っております。今後ともよろしく願いいたします。



近況報告

新入会員

高田 繁則

私こと、本年3月に定年退職し、この度志登茂会に入会させていただくこととなりました。

在職中は、皆様方に一角ならぬご指導ご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、小生の近況について以下の通り報告させていただきます。

本年4月より再雇用職員として財務部契約チーム検収センターに勤務させていただいております。検収センターの再雇用職員は、今年度より事務局、医学部及び南門の3つの検収センターを3ヶ月単位で定期異動することとなり、この10月から小生は南門に配属となりました。

南門の主な対象部局は工学部であり、三重大学に奉職した最初の配属先であることから、昔馴染みの教職員の方々や業者さんと接する都度、懐かしさを感じております。

また反面、若気の至りの言動により、当時の上司や先輩の方々に多大なご迷惑をお掛けしたことも想起され、忸怩たる思いもこみ上げてくるのも事実です。

還暦を過ぎ、第二の人生を歩むにあたり、確たる人生設計は描けてはおりませんが、体力維持と余暇充実の二本柱で過ごして行こうと心掛けております。具体的には、まず体力維持のため、毎朝約20分程度のストレッチと若干の筋トレ、それから自宅から約3Kmの距離を徒歩で通勤することを課しております。ただ、その効果が現れるまでには時間を要するため、今後も気長に続けていくつもりです。

次に余暇充実としては、妻という名のツアーメイトと共に行く小旅行で、主に鳥羽市周辺の民宿へ1泊2日で行かれます。

宿に早々に到着し、おもむろに湯船に浸かることで命の洗濯をした後、若い頃からの垂涎的であった鯛、鯉などの活魚の“船盛り”をメインとした海鮮料理を食することが目下のところ、最大の楽しみです。

現職を退き再雇用職員となり比較的に年休取得も融通が利くことから、ワークライフバランス実現ができました。

あと数年、三重大学にお世話になることと思いますが、つつがなく頑張って真参りたいと思っている次第です。

最後に、年明けからの新型コロナ流行の影響のため、“新しい生活様式”のもと、皆様方におかれましては制約の多い中、何かとご不便がございまして大変かと存じますが、ご自愛いただき、末永くご健勝であられることをお祈りいたします。以上、乱筆乱文お許しください。



近況報告

新入会員
山田 浩之

秋の深まりを感じる今日この頃、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

志登茂会に新入会させて頂きました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

私は4月より附属病院内の一般財団法人三翠会に再就職させて頂きました。42年間の大学職員生活に些か未練も感じますが、色々なストレスから解放され、心身ともに健やかな毎日を送っております。

しかし、最近の附属病院での色々な出来事を見ますと、現職の人たちに申し訳ない気持ちと、ギリギリのタイミングで退職して良かったなあという正直な気持ちもあり、複雑な心境です。特に「コロナ禍」では、全ての人が活動の自粛や制限を余儀なくされていますが、中でも医療従事者には大変な負担が掛かっていますし、病院事務職員も殆どの方が、外来患者さんや来訪者の検温に交代で当たるなど、感染リスクを伴った業務負担が増えており、この状況がいつまで続くのかも分かりません。with コロナの時代になるとは言いますが、一刻も早くワクチンや治療薬が開発されることが切に望まれます。

さて、三翠会について少しご紹介したいと思います。

三翠会は、「患者及びその関係者の救援」と「病院職員及び病院関係者に対するの福利厚生等の便宜供与」を目的とし、昭和50年11月に三重県知事の認可を受け設立された財団法人です。全ての国立大学附属病院に設置されており、病院運営の側面的支援を担っています。三翠会の事業内容は、病院内でコンビニ（ローソン）やコーヒーショップ（ドトール）、医療用品売店、寝衣・付添ベッドのレンタル及び自動販売機、理容・美容室などの収益事業並びに外来・職員等駐車場の管理を行っています。

また、収益事業の中から附属病院への寄附や医学部への研究助成、職員の福利厚生支援などを行っています。もとより利益の追求が目的ではありませんが、少しでも収益を上げることで病院への貢献に繋がります。コロナ禍の影響により売店等の売上減少、面会制限等による駐車場収入の激減など経営的には厳しい状況ですが、これからも患者さんや職員の皆様のために少しでも貢献できるよう、色々な取り組みを考えながら頑張っていきたいと思っておりますので、どうか皆様のご支援をよろしくお願い致します。

個人的なところでは、趣味らしい趣味もありませんが、若い頃にやっていたバンド仲間とそれぞれ時間的な余裕もできたので、たまに集まって（三密は避けて）遊んだりしています。あとは家庭菜園を先輩方のご助言を受けながら細々と取り組んでいます。健康面では相変わらず、 γ -GTP、中性脂肪、尿酸値という典型的なアルコール性の数値異常を示していますが、分かっちゃいるけど止められない♪です。

三翠会の事務所は、医学部病態医科学研究棟西隣のプレハブ2階建て（旧臨床研究開発センター）にあり、時々OBの方々も立ち寄って頂いています。昔話や近況を語り合う場として、お近くにお越しの節は是非お立ち寄り下さい。高倉啓一理事長とお待ちしております。

末筆ながら、時節柄皆様には、くれぐれもご自愛専一になさって下さい。



志登茂会の皆様へ

新入会員
前川 豊孝

本年3月末で定年退職し、はや半年が過ぎました。この度は、伝統ある志登茂会へ入会させて頂くことになり、ありがとうございます。志登茂会の先輩諸兄の皆様、何卒よろしくお願い致します。

私は、昭和54年に農学部（現生物資源学部）附属農場に技術職員として採用され、以来41年間農場で学生実習や農作物（主に果樹）の栽培管理などに携わってきました。また、最後の10年間はフィールドサイエンスセンター技術部技術長として、運営にも携わらせて頂きました。

自然を相手とする業務ですので様々な苦労もありましたが、技術部をはじめ事務部、先生方に助けられ、定年まで勤めることが出来ました。色々あったことも今となっては全て良き思い出となっています。

この4月からは、定型業務等運営・支援センターキャンパス環境整備室で再雇用職員として働かせて頂いています。

業務内容は、当整備室で働く障害を持った方々の業務支援で、主に事務局や総合研究棟Ⅱなどの清掃、草刈りや落ち葉の収集・処分など、キャンパス内の環境美化作業の支援をしています。今までと違った業務に当初は戸惑いましたが、半年を過ぎて慣れてきたところです。

退職前の3月に、志登茂会へのお誘いを頂きました。技術職員の私が仲間に入れて頂いてよいものか…と迷いましたが、4月から上浜キャンパスでの再雇用が決まりましたので、入会させて頂くことにしました。

これからは、健康に充分留意しながら仕事に取組み、休日には趣味のアウトドアなどを楽しんでいきたいと思っています。志登茂会の一員として、皆様には色々とお教え頂くこともあるかと思いますが、今後とも何卒よろしくお願い致します。



定年からの学び

ー公開講座や市民開放授業などー

伊藤 文雄

定年を機にもう少し勉強したいとの思いから、三重に戻った翌年に教養教育の公開講座を受講しました。アクティブ・ラーニングも用いており市民開放授業への関心が高まりました。また、医学部と病院の公開講座も受講しました。医療や健康に関する講座への関心は高く、志登茂会会員も多く参加されておられました。

他の教育機関に赴任中で知らなかったのですが、三重大には三重県との協定に基づき設置した「みえ防災・減災センター」を中心に全学が一体となって「防災塾」を開講、一般市民が防災の専門知識を学ばれていることを知り得ました。

「防災塾」は半年の基礎コース（無料）もありましたが、1年に及ぶ応用コース（工学研究科特別の課程：有料）を選択しました。基礎コースに加え多様な専門分野の講師による講義や実習、更には特別研究（論文指導）があったからです。

毎週土日に三重大に通い、課題を提出後に帰宅、論文作成のため多様な文献に目を通しました。図書館で借りた本を帰りの電車で読むこともありました。日曜朝はランニングクラブの例会もあり時間には追われましたが、マラソン大会参加の旅行を兼ねて関連地域の取材を行うなどで論文をまとめることができました。指導の先生や塾生の方との交流もあり有意義な1年となりました。然しながら、修了式も論文発表会も新型コロナの蔓延で中止となりました。

かようななか、地域イノベーション学研究科の市民開放授業を受講しました。コロナ禍のため Zoom など ICT の援用によるオンライン授業となり自宅から受講ができました。仕事も変わり、夕方勤務の際は休憩の僅かな時間を利用してスマホで受講しました。講師、修士学生や職員の方との意見交換の機会もあり有意義なひとときでした。市民開放授業はオンラインで開講されるようになり自宅からも受講が可能となっています。志登茂会の皆様には是非お勧めしたいと思います。

なお、講義で利用した Zoom については、関心を抱き仕組みや操作なども理解しました。志登茂会の皆様方には、スマホを利用した“オンライン交流会”なども出来ないかなと思う次第です。今後ともよろしく申し上げます。

※特別研究の一部より 考える一例：「エルトゥールル号事件（1890年）」



「遭難場所：船甲羅」

「檜野崎灯台」

（紀伊半島大水害復興祈念行事前日，エルトゥールル号遭難の地を17年振り再訪 R1.11.16）

志登茂会会員からの近況報告等

(五十音順)

No.	氏 名	退職年月	近 況 報 告 等
1	赤 塚 正 夫	昭和55年3月 転勤	この2月に自宅の階段で滑落し、1ヶ月入院しました。 手術後リハビリを行い、今は回復しました。 コロナで皆さんとお会いできないのが残念です。しかし、希望を持って、生涯青春の心で前進していきます。頑張りましょう！
2	渥 美 文 毅	平成10年3月	三重大大学の思い出 私をご指導くださいました北出さん、杉谷さんに特別な思いを現在も忘れることができません。 小野さんもそうですが、その他の人々、私の人生に多大のご指導くださいました方々に感謝しております。 北出さんは仕事以外にご指導賜りました。それは弓道です。全日本弓道連盟の3段の認許書と若かりし私の袴姿の写真が自宅にあります。 杉谷さんは、医学部会計係でご指導賜りました。 話がずーんととんで、工学部在任中のこと、藤城工学部長と囲碁をしました。一目負けました。穏やかでいつも笑顔で接していただきました。 生物資源学部でのこと、最後の農学部学生と生物資源学部の学生の駅伝について、教授会の議題にもなり、コースの下見、連絡方法など、事務方の私の担当でした。農学部伝統ある行事で、学部と学生と一体になって、無事に行事が終わりました。その後、先生方とも親しくなって、良くして下さいました。
3	五十嵐 芳 男		
4	市 川 知 恵 子	平成24年12月	新型コロナウイルスの関係で自粛生活をしています。朝夕していた散歩も朝だけにしました。 晴れている日は、散歩している時、遠くに青山高原の風車がよく見えます。今の私はその姿に元気をもらっています。
5	伊 藤 謙 一 郎	平成27年3月	三重大大学における再雇用を本年3月末で退職してから本格的にゴルフを楽しむために4月より霞GCでポーターとして働いています。 ここはアコーディアゴルフグループなので全国133か所のアコーディアゴルフ場が格安でラウンドできたり、ゴルフクラブやウェア、ボールなども安く購入でき、練習場も勤務後の練習ラウンドも無料でOKです！ 昨年は年間62ラウンドでしたので、今年は70ラウンドと77のベスト更新とアベレージ80台が目標です。 現時点で63ラウンド、ベスト78、アベレージ89.4と微妙な数字です。 12月はGotoトラベルで先輩方との静岡遠征を予定しています。 体調的には、大学病院で定期的に受診し、また臍臓関連で年1でCT検査を受けていますが順調のようで安心しています。 体が動くうちはこれからも好きなことをやってストレスフリーな生活を目指します！
6	伊 藤 文 雄	平成29年3月	11頁～12頁をご覧ください。
7	稲 垣 義 一	令和2年3月	6頁をご覧ください。
8	井 上 務	平成20年3月	大学を退職して13年目ですが、お陰様で今のところ元気にしていますので、高圧電気設備とか、太陽光発電設備の点検などの仕事をずっとしています。 しかしながら、自分ではしっかりしているつもりでも高齢となってきたことで危なっかしいこともあると思い、もうそろそろやめるころあいなと考えている昨今です。 来年は、コロナの問題なく、志登茂会の皆様とお会いできることを楽しみにしています。
9	浦 田 孝 一	平成14年3月	私の近況ですが、コロナ対策としてできるだけ人が多く集まる所へは行かない様にしてあります。この10月11日に橋幸夫のコンサートが伊勢であったのですが、行きませんでした。(チケット券あったのですが、)次に毎日家のまわりを散歩(目標7000歩)とラジオ体操をしています。元気に過ごしています。

志登茂会会員からの近況報告等

(五十音順)

No.	氏名	退職年月	近況報告等
10	大市勝子	平成15年3月	
11	大嶋勝彦	平成11年3月	
12	大西真二	平成29年3月	<p>三重大学を定年になって早3年と半年が経ちました。 今は、財務部契約チームにお世話になっています。 仕事は主に物品の納入検査です。 最近、遅がけからゴルフに嵌まってしまい、健康と趣味に走っています。 ただ、スコアのほうがかく伸びずイライラしています。 練習だけは大学前のリバーサイドに行き、毎日励んでいます、成果が現れませ ん。 どうすれば、100切りが出来るのか？悩んでいます。 皆さん…教えてください。お願いします！！</p>
13	大西幹雄	平成22年3月	<p>「今の思い」 三重大学を2010年(平成22年)3月末に定年退職し、その後10年にわたって再雇用 等で三重大学で仕事をさせていただき、この3月末でようやく引退をさせていただき ました。 定年退職後に、まさか10年も行き慣れた三重大学に勤める事ができるとは思って いませんでしたが、おかげさまで若い人たちの中で仕事をしてきましたので、気分的 には多少は自分も若さが保てたかなと思っていましたが、引退したとたん肩などの関節 に痛みが出るなど、体力的には十分年寄りになっているのだなと実感した次第です。 これからは悠々自適と行きたいところですが、お袋が94歳でいつお迎えが来てもお かしくない状況ですので、できるだけ穏やかな日々が過ごせるよう見守っているこの 頃です。ただ、この間、1歳年上の友達が亡くなるなど、親より自分が先にあの世に 行くこともあるなと思い、体には十分気を付けるようにしたいと思っています。</p>
14	葛西勇	平成29年3月	運動不足がたり、五十肩になり治療中です。
15	勝谷武		
16	加藤孝生	平成15年9月	<p>本年は、新型コロナウイルスに振り回されて終わりそうですが、豊が丘のシニアは、 コロナに負けないため、ソーシャルディスタンスを保ちながら、次のような活動を活発 に行っていますので、紹介させていただきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域貢献活動 幹線道路花壇の花植え、公園の草刈りと清掃、小学生への田植え稲刈りの 指導などボランティア活動を行っています。 2. サロン活動 毎月2回集会所でサロンを開き、コーヒーを飲みながらおしゃべりをし、交流 を図っています。 コロナのため、対面飛沫防止アクリル板(透明パネル)を設置しています。 津市地域ささえあい通所支援事業のモデルケースとなっています。 3. クラブ活動 家での巣籠はダメなので、屋外で行うラジオ体操、グラウンド・ゴルフは、従 来に比べ参加者が増えています。 <p>その他にもいろいろ行っています。 コロナで大きな行事が中止となりましたが、私も世話役として、結構忙しい毎日 を送っています。 来年こそ、総会、秋の行事で皆様と元気でおいでできることを楽しみにしています。</p>

志登茂会会員からの近況報告等

(五十音順)

No.	氏 名	退職年月	近 況 報 告 等
17	金 森 章	平成 8年3月	<p>現在、全世界で猛威を振るっている新型コロナウイルス禍ですが、皆様方にお変わりありませんか。</p> <p>私事、三重大学を退職後24年経過し、齢84才の現在に至るまでを振り返るとき、種々の思い出が尽きず、感慨無量です。また、昨今の自身の体調は、加齢による心身の衰弱が顕著になり、認知機能の低下も自認している状態です。今後は、健康保持に留意しながら、家業の存続に専念すると共に、余暇には好きな園芸や書画等にもチャレンジして気儘に余生を送りたいと思っております。</p>
18	河 合 勝 己	平成16年3月	<p>コロナコロナの毎日でうんざりして居りますが、年齢相応に元気に過ごしております。</p>
19	北 川 昭 義	平成16年3月	<p>9月以降、天気の良い日は、畑仕事と庭木の手入れに没頭してきました。お陰で、太り気味のの体重が4kgほど減少し、63kgになりました。好調です。</p> <p>ここ数年前から、一人俳句で時間を潰しています。いくつかの団体に、パソコンで投句を続けています。昨年から、少しですが、入選するようになりました。</p> <p>(二句紹介します。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 風の夜の明けて落ち葉の社かな ○ 十葉の花鮮やかに朝の雨
20	北 山 繁 樹	平成29年3月	<p>コロナコロナ、自粛自粛で暮らしにくくなり、コロナと疑われるのが嫌でおちおちと風邪もひけない世の中ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。</p> <p>仮に自分が感染したとするなら自身の病状がどうなるのかの心配よりも、感染に付随して想像される保健所とのやりとり、PCR検査等の手続き、職場とのやりとりの面倒くささがなんとも憂鬱だと思っています。</p> <p>早く特効薬や強力なワクチンが出来て以前の生活に戻ってくるよう、切に願わずにいられない今日この頃です。</p>
21	木 村 信 之	平成31年3月	
22	倉 野 敦 夫	平成28年3月	<p>昨今、歩行が困難になったため、年末に思い切って人口関節に替える手術をしました。もうすぐ1年になりますが、お陰様で何とか普通に歩けるように回復し、最近は大抵も少しずつ始めています。まだ正座とかしゃがんだりが出来ませんので、リハビリには通っていますが、十分な生活環境をいただきましたので、感謝の気持ちを忘れないよう過ごさせていただいております。</p>
23	栗 田 敏 幸	平成29年3月	<p>厄介なウイルスの感染拡大により窮屈な日々を送る中、某診療科における不正事件により対応すべき諸問題の一端で苦悩の日々が続いております。</p> <p>どちらが先に収束(解決)するのか見通しは全く不明ですが、いずれにしてもできることを淡々と行うしか無く、また、これ以上大学のイメージが傷付かないことを願っております。</p> <p>冬の足音が聞こえてきました。会員の皆様のご健勝を念じております。</p>
24	黒 川 清 司	平成14年3月	<p>10月に結婚50周年を迎えました。</p> <p>記念に比叡山へ行ってきました。「ロテルド比叡」というホテルに2泊して延暦寺の寺院を巡拝してきました。</p> <p>「たくさんの仏様とお近づきになれてあちらへ行っても楽ね」と家内は言っていますが、「もう暫らくはこちらに居ることにしようよ」と話し合っています。</p> <p>皆様もどうか長生きしてください。</p>
25	小 菅 佳 年 子		
26	下 初	令和2年3月	<p>7頁をご覧ください。</p>

志登茂会会員からの近況報告等

(五十音順)

No.	氏 名	退職年月	近 況 報 告 等
27	菅 野 薫	平成16年3月	<p>喜寿を迎えて物忘れを一段と感じております。 健康な体力を維持すると共に、コロナウィルスの感染対策を含め、自然を相手に家庭菜園を始めました。</p>
28	杉 谷 秀 也	昭和61年3月	<p>私は長らく事務局主計課課長補佐をしていたが、昭和51年4月附属図書館事務長に異動した。5学部を基礎とする新図書館が昭和53年度に新築され、新図書館の利用方法等を職員と相談し、一方空いた部屋で卓球をする楽しみがあった。昭和54年4月農学部事務長に異動した。農学部は旧知の教職人の方が多く、楽しく仕事が出来た。又60数キロ離れた美杉の平倉演習林の忘年会には必ず出席し、職員と話し合うことにしていた。昭和57年4月医学部事務長に異動した。医学部は県立大学の移管で新設とは相違する問題もあり、又既設学部とは違う問題もあった。あのとき、動物実験施設の犬(セパード)が逃げ出し、1週間後に元の飼主の所に帰ったことがあり、いろいろ問題はあったが、無事仕事が出来たのは有難いことであった。</p>
29	杉 本 勇	平成16年3月	<p>後期高齢者の仲間入りをした途端、新型コロナウイルス禍となり、生活が一変しました。 妻に気分転換のため「GOTOトラベル」を利用して旅行でもと話しかけると、私はコロナに感染したら「イチコロ」やから、お父さん一人で行って来てと言われて断念し、家で引きこもっております。 一日も早く新型コロナウイルスのワクチン開発と終息、合わせて皆様方のご健勝を願っております。</p>
30	瀬 古 一 巳	平成25年3月	<p>健康診断を受検して思うこと 先日、健康診断で初めて津市内の某センターに行ってきました。 9時30分が予約のため、15分前にセンターに到着するとすでに駐車場は満車状態でした。受付を済ませて待合室に行くところコロナ禍のため、全員マスクの受検者が間隔を空けて椅子に座って順番を待っていました。 30分ほどして名前を呼ばれたので最初のブースに入り、身長、体重、視力検査の後、血圧測定になり、自動測定器で計測の結果、152-90と今まで見たことのない高い数値のため、深呼吸を2回して再度測定したが、148-92と依然高いので、「いつも高くても最高が130ぐらい」と訴えたところ、中年の看護師さんに来てもらい、通常の器具で測定してもらったら、1回目127-78、2回目120-76で看護師さんからも「正常ですね」と言われ安心しました。 もし、最初の数値なら高血圧症と診断され、再検査をさせられていただろうと思うと危ないところだった。看護師曰く、「自動測定器は多少数値が高くなることもある」とのこと。対応する若い女性スタッフで数値が高くなったのだとしたら、小生もまだまだ気が若いなあと感じた1日だった。(笑)</p>
31	世古 昌也・ みき子	平成26年3月	<p>役員の皆様にはお世話になっています。 このコロナ禍、息子、娘夫婦の帰省がままならず、もっぱらオンラインでの会話が続いています。孫の様子はわかりますが、ちょっと寂しい感じがします。お陰様で二人とも元気で今は季節の野菜、花を育て穏やかでやさやかな日常を過ごしております。早くコロナが収束に向かい、以前のような平穏な社会に戻るよう心から願っています。会員の皆様、どうぞお元気でお過ごし下さい。</p>
32	高 岡 秀		
33	高 田 繁 則	令和2年3月	8頁をご覧ください。
34	辻 千津子		

志登茂会会員からの近況報告等

(五十音順)

No.	氏 名	退職年月	近 況 報 告 等
35	寺 嶋 資 文	平成16年3月	<p>拝啓、秋冷の季節になりました。皆様方にはお元気ですか。私は歳相応に元気に過ごしています。周4日近くの公園でグラウンド・ゴルフを日当たり約4時間身体を楽しんで動かしています。ただ、コースの管理が大変で、夏季は7日～10日毎に草刈りを行います。これもコースがきれいになると、気持ちがスッキリして、ストレスが飛んでいきます。</p> <p>また、毎日欠かさず朝食前に仏壇に手を合わせています。「南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏 ～ ～」「願似此功德 平等施一切 同発菩提心 往生安楽国」 以上</p>
36	寺 西 清	平成15年3月	<p>現職のころから多少体力に自信を持っていましたが、今年の夏は予想外の暑さを感じ、好きなスポーツをしても持続力・回復力が鈍く、且つ疲労感が残りました。</p> <p>これは、暑さの所為だろうと諦めていましたが、暑さが去り、秋風が吹くようになって、スポーツ後の倦怠感は一方向に解消される気配がなく、「何故なのかナー！！」と再考したところ……………単純なことで「この体調不良は暑さだけでなく、加齢による体力(身体機能)の劣化である」との結論に辿り着き、改めて自分が老化への道を順調に邁進していることを実感し、苦笑している昨今です。</p> <p>皆様の体調は如何ですか。心身の老化に配慮しつつ年齢相応に鋭意頑張ってください。</p>
37	遠 山 雅 三	平成6年3月	<p>会員の皆様、お変わり有りませんか。</p> <p>コロナ・ウィルスの影響で、会報誌上での懇談会が企画されたことにビックリ仰天です。</p> <p>コロナ禍発生以来、マスクを無二の友として、ひたすらに三密を回避、手指の消毒に努め、コロナ禍の沈静化を願う日々です。とは言へ余りにも閉じこもりの環境に耐え難く、ウィルスの隙間を縫って、ゴルフ・囲碁・麻雀・ウォーキングで、いやしの時間をつくり、健康維持を図っています。年が変わればコロナも静まるでしょう。早く皆様と一堂に会えるよう念じています。</p>
38	中 島 英 雄	平成31年3月	<p>皆さま ご無沙汰しております。</p> <p>私は現在、男女共同参画推進室で比較的ゆっくりとした時間の流れの中で仕事をさせていただいております。(来年度は伊藤正明学長に変わり、ダイバーシティの推進を強化することなので大きな”変化”がありそうです。)</p> <p>プライベートでは、血糖値対策として適度な運動をするように厳命されており、バドミントンを再開しました。コロナ禍で学内では運動ができないため、外のクラブでやっていますが、9月に右足ふくらはぎの肉離れを起こしてしまい、松葉づえ生活を経てプレイ再開まで7週間掛かりました。皆さまも無理をなさらずに、ほどほどに。</p>
39	中 西 和 康	平成21年3月	<p>平成22年12月発行の会報「志登茂第45号」に掲載の芝桜の丘は、現在も4月頃には華やかな雰囲気のある山となっているのでしょうか。</p> <p>一時的な対応ではなく、永く続くものであって欲しいものです。</p>
40	中 西 治 幸	平成24年3月	<p>古希を前にすると、健康を害した同級生や知人のことを耳にすることが多くなり、特にきっかけはないのですが、今年からラジオ体操を始めました。以前から職場の先輩が近くの学校へ通っていることを聞いて、近所でしているグループを探しましたが見つかることができず諦めていましたが、考えれば自分の健康のためなら誰かと一緒にないと出来ないこともないので、毎朝テレビを見ながら、1, 2, 3と、小学校に戻ったように続けています。昨年二人目の孫が生まれましたが、思うように会うことができないので寂しい思いをしていますが、健康を維持して、これからも孫の成長を見守りながら、美味しいものを食べて好きなゴルフと釣り、旅行を楽しみたいと考えています。</p>

志登茂会会員からの近況報告等

(五十音順)

No.	氏 名	退職年月	近 況 報 告 等
41	中 西 勝	平成29年3月	<p>早いもので再雇用となって5年目を迎えました。今回は志登茂会の皆様に大学の近況をお知らせしたいと思えます。私も在職最後の年にこのような事態を経験することになるとは思ってもいませんでした。大学のキャンパスはリモートによる授業が実施されており、年度当初は連日まったく学生のいない異常な状況となっていました。まるで閉鎖された大学のように、時折近所の住民が学内を散歩する姿を見る程度、生協、コンビニも休業となり、学生の姿は全くありませんでした。ようやく一部の対面授業と許可を受けてのクラブ・サークル活動が実施され、学生の姿もちらほら見かけられるようになりましたが、学生が校内で集まる姿は全く見られません。窓口を訪れる学生も少なく、学内も静まりかえっています。学務部で働いている関係上、普段から学生に接しているので、外出を控え仕事が終われば、早々に帰宅する毎日が続いています。</p> <p>他の大学でクラスターが発生していることや学生らしき若者が騒いでいるなどの苦情も寄せられ、大学に対する目が厳しくなっています。</p> <p>学生達が楽しみにしていた大学祭もオンラインの開催となり、この先入試や卒業式などの行事が無事に開催され、来年度から通常どおりの授業が開催できるか心配な状況です。</p> <p>学生たちもコロナの影響からアルバイトが無くなり、収入が激減した学生が多数いることから、国の奨学金に加え、三重大学独自の奨学金も支給されました。それでもこの先不安な学生が相談に訪れています。</p> <p>メディアではコロナ感染者が増えてきており、今後もさらに増え続けると予想されています。来年度は新入生を迎え、通常の授業が始められるよう、またにぎやかなキャンパスが戻って、たくさんの学生が通学する姿を見ることができるよう願っています。</p>
42	長 嶋 重 次	平成21年3月	<p>年相応に老いていますが、元気に過ごしています。 総会、懇親会で会員の皆様にお会いするのが楽しみです。</p>
43	西 川 忠 夫		<p>会のことではお手数をかけています。毎日元気に好きな事をして過ごしています。 会の皆様によりしくお伝え下さい。</p>
44	西 口 章 一	平成9年3月	<p>日々の生活を維持して行くための体力を養うよう努めています。 志登茂会の益々のご発展をお祈りいたします。</p>
45	沼 田 敏 男	平成21年3月	<p>野菜作りの毎日です。家で消費するだけでなく、近くの産直市場に出荷しています。 [あなたの野菜美味しかったよ]と言われると感無量です。 退職後止めていたバドミントンも再開し、寺西会長や菅野薫さんと楽しくやっています。</p>
46	長谷川 美穂子	平成17年3月	<p>御無沙汰しております。 年令と共に一年があっという間に過ぎていくように感じています。私も後期高齢者となり、先日は車免許更新手続きで初めて認知症検査を受診、続いて高齢者講習を受け、やっと免許取得、まだ車は手放せないで頑張りました。日常はサークル、ボランティア活動、それに週2日程のアルバイトで、毎日のように出かけております。このような行いが老化を遅らせ、元気でいられる基と自分で信じて、なるべく続けて行きたいと思ってます。後になりましたが、いつもご連絡を頂き、本当にありがとうございます。</p>
47	服 部 美佐子	平成20年3月	<p>元気で過ごしています。家籠り生活が長くなり。外出が億劫になりました。</p>
48	原 林 幸 一	平成12年3月	
49	東 川 正 朗	平成30年3月	<p>7月に手術しました。健康の大切さを感じました。健康第一</p>

志登茂会会員からの近況報告等

(五十音順)

No.	氏 名	退職年月	近 況 報 告 等
50	廣 信 幸	平成21年3月	退職して今年で11年目になります。目もかすみ、耳も遠くなって来たように思いますが、現在、医学部医学科三医会事務局に勤務しています。前田政彦さんと一緒です。休みの日には、息抜きに家内と買物やドライブに出かけていますが、最近はコロナでステイホームが多くなりました。もうしばらく三医会での勤務が続くと思いますが、体に気をつけて励んで参りたいと思います。皆さんもお元気で過ごしてください。
51	藤 森 迪 哉	平成6年3月	平成6年3月三重大学定年退職、引き続いて4年間放送大学に勤務し退職後、津市から生家である名張市に単独で、住居移転し以後引き続いて今年で22年間経過しております。お陰で健康で過ごさせて頂いております。 移転したのは、私には兄弟が居らず、誰も住む者が居らないので、仕方なく私が守って居ります。 田舎の事で近所のお付き合いで仕方がありません、どうぞよろしくお願ひ致します。
52	前 川 豊 孝	令和2年3月	10頁をご覧ください。
53	前 田 政 彦	平成24年3月	早いもので、定年退職して8年が過ぎました。退職して4年間は大学でお世話になり、その後続いて、医学部校舎1階の事務室で三重大学医学部医学科同窓会(三医会事務局)などの仕事のお手伝いを先輩の廣さんとしております。こちらも4年半になりました。月日が経つのは早いなと最近つくづく感じております。近況として、寒くなってきて、いよいよ薪ストーブの時期になってきました。もう薪ストーブを焚いています。9年になります。 今年は早めに薪集めをしたので、休みの時はチェーンソーで切って、薪割りをしています。健康維持のためにも少しは役だっているかと思ひます。コロナ禍ではありますが、何事にも無理をせず、ゆっくりとした生活を送っていきたく思ひています。
54	松 田 隆 作	平成8年3月	皆さんご無沙汰しております。 今年新型コロナウイルスが発症、大流行し大きな打撃、影響を受けております。いろんな催しもの、行事、会合等はできず、東京オリンピック・パラリンピックも1年間延期、国内でも感染が酷く、いつ収束するやら全く見通しがつきません。 オリンピック・パラリンピックが実施出来るか？ 不安ですネ。 政府は、菅義偉総理大臣に交代し、アメリカでは今大統領選、激戦、やっとなら民主党のジョーバイデン氏が当選確実となりました。日本にはどう影響するか？ チョット不安もありますネ。
55	松山 壽男・ 恵子	平成26年3月	毎日は畑で野菜を作っています。元気にしております。
56	村 岸 萬喜男	平成15年3月	三重大学キャンパスについて 去年、三重大学施設部に行き、用事を済ませて時間があつたので、構内の教育学部棟、人文学部棟、一般教養棟周辺を散歩がてらに見て回った時に樹木が大きく育ち、緑の多い落ち着いた環境の良いキャンパスになってきていると感じました。自分は平成4年に転勤しましたが、平成4年以降三重大学キャンパスには講堂、その他多くの施設が建設されています。 コロナが治まり、気候の良い時期に講堂、工学部棟、旧水産学部棟まで歩けるうちに回ってみたいと思ひています。

志登茂会会員からの近況報告等

(五十音順)

No.	氏 名	退職年月	近 況 報 告 等
57	村 田 克	平成19年3月	<p>志登茂会会員の波様、大変ご無沙汰しております。</p> <p>私は定年直後からボケ防止の為、自宅周辺の草取り、樹木の伐採、剪定を行い、燃えるゴミを担当しています。又パソコンでゲーム(将棋、麻雀、囲碁)に熱中しています。医者には毎月1回歯科・糖尿病治療で受診しています。</p> <p>農業の時期には、田植え・稲刈り等に精を出しています。</p> <p>令和元年より、上久保自治会の書記・会計を担当し、会員名簿・役員名簿等の作成・印刷・親睦行事(日帰り)の計画、体育大会(春・秋)及び防災訓練への参加等しており、今年10月に実施されました。</p> <p>国政調査の調査員で任命され、各個人の家(アパート含む)に伺い、調査依頼しました。(中国人、フィリピン人への対応)</p> <p>以上のような生活で毎日を有意義に過ごしています。</p>
58	村 山 充	平成24年3月	<p>健康維持の秘訣、生き甲斐</p> <p>①鉄路探訪(撮り鉄、乗り鉄) ②フェイスブックで情報収集、シェア ③ローカル鉄道支援協力</p> <p>昭和48年頃から約48年間撮りためた写真、切符、スタンプ等膨大な鉄道コレクションの中からレアな写真など可能な限りパソコンに入力し、新旧織り交ぜ、フェイスブックにほぼ毎日アップしています。週一回程度はマイホリデーとして駅から散歩、まだ利用したことがない駅や四季折々の鉄道風景を次はどこで撮ろうか、常にモチベーションを保ち、自分にしかできないことを連日ひたすら楽しむ日々、少子高齢化が深刻化な地方を救うため観光、環境、交流の面でフルに力を発揮し、軌道に乗せるローカル鉄道ネットワークに鉄道巡りの成果を紹介し、広く理解し向き合うSNSフェイスブックが健康維持の処方箋と確信しています。感謝。</p>
59	諸 岡 眞	平成21年3月	<p>爽やかな秋風を感じる今日この頃、皆さん如何お過ごしですか。当方並に暮らしています。コロナ禍、朝は5:45のモウサテで起き、午後3:00までリモートワークそれから一転ドライブがてら水泳、夕刻7:30頃一杯の夕飯と規則正しく? 生きてます。土日は菰野で屋敷の守作業、しかし百姓は根っから嫌いで四苦八苦です。75歳が過ぎたら目標をこの際欲の世界から詩歌の世界、更に仏門の世界に変身しようと思ってます。合掌</p>
60	山 北 信 子		
61	山 崎 晴 夫	平成31年3月	
62	山 田 浩 之	令和2年3月	9頁をご覧ください。
63	吉 村 裕 幸	平成22年3月	<p>退職して早10年目になりました。70才と言う年を背負いながら過ごしています。幸い体調の異変も無く、百姓の傍ら朝晩のインターネット囲碁や周3回以上のテニス、週一のゴルフを楽しんでいます。また、3年ほど前からビール作りを行っています。蔵出し生ならず、「小屋出し生」の「黒生・ラガービール」を百リットル位作り、テニス仲間やゴルフ仲間と試飲会をして楽しんでいます。機会があれば試飲していただければと思うところです。</p> <p>皆様の益々のご発展とご健康を祈念しております。</p>

事務連絡

本年も前年通り、三翠会館内事務室に職員が常駐して、「志登茂会」のお世話をしておりますので、会費納入方法、その他のお問合せ・連絡については、下記までお願いいたします。

〒514-8507 津市栗真町屋町 1577

三重大学生物資源学部三翠会館内

電話：059-231-9677

Mail：dosokaijimu@ab.mie-u.ac.jp

編集後記

表紙の写真は、来年度生物資源学部が創立100周年を迎えますので、創立当時の三重高等農林学校の全景写真を掲載しました。

特別寄稿として、草川学務部長から「三重大学の変容（With コロナ）」と題し、執筆いただきました。今年はコロナで始まり収束を向かえないまま暮れようとしています。そんな中における三重大学の現状、種々の対応等について、学務部の目線で最近のトピック等をまじえて紹介され、授業、課外活動また事務職員の様子についても説明いただき、我々が勤務した当時と比較すると、在宅勤務、ZoomによるWeb会議等考えられない状況に変わっていることがよくわかり、三重大学の現在の状況等を知る良き機会となり有難く感謝しています。

また、6名の会員の方々から、「近況報告」等の投稿をいただきました。

投稿いただきました皆様には、ご協力感謝申し上げます。

また、今年はコロナ禍により、総会及び親睦交流行事が中止になったため、各会員に近況報告等の記事について投稿を改めて依頼しました。

ご協力いただきました方には、心よりお礼申し上げます。

会報発行は、例年通り役員一同の「手作り」で、写真のすべてをカラー版としました。

今後の投稿記事につきまして、幅広く会員の皆様からいただきたいと思っておりますので、その節にはご協力のほどよろしく申し上げます。

最後に、会員の皆様方の益々のご健康をお祈りいたします。

(編集者一同)